

阿南市女性100人委員会が阿南市長に提言

阿南市では、平成18年9月に県内の他市町村に先駆けて「阿南市男女共同参画推進条例」を制定し、男女共同参画社会の形成を総合的かつ計画的に推進し、豊かで活力ある社会実現に向けた取り組みの強化に努めています。また、平成20年9月には、「阿南市男女共同参画推進基本計画」が策定され、毎年度その進捗状況を把握し、市民の皆様公表して、計画の着実な推進を図ってきました。

見を市政に反映させたい。また、そうした場所、機会を設けたい」と設置されました。公募により参画していただきました委員の皆様には、2年間、熱心にご協議いただき、提言書をまとめていただきましたことに深く感謝いたします。提出いただきましたご意見やご提言は、市の各部署で内容を精査し、検討を加えたうえで市政運営のなかで活用していきたいと考えています。

この度の阿南市女性100人委員会の設置は、市長二期目の「あらゆる世代が快適に暮らせるまちづくり」という政策目標のなかで、「女性の積極的な参画を求め、女性の視点、女性の意

今後、豊かで活力ある社会の実現に向け、地域に根ざした男女共同参画社会の推進にご協力いただき、積極的な取り組みをお願いしたいと思います。
人権・男女参画課 男女共同参画室



委員会を代表して岩浅阿南市長に提言書を手渡す町田哲子さんと委員の皆さん。(12月17日：富岡公民館にて)

阿南市女性100人委員会の取り組み

平成21年 9月	広報あなんで委員を公募
10月 9日	114人の応募がある
12月 5日	第1回 阿南市女性100人委員会開催 市長から委嘱状交付
平成22年 2月20日	第2回 阿南市女性100人委員会開催
4月17日	第3回 //
6月 5日	第4回 //
8月28日	第5回 //
10月23日	第6回 //
12月25日	第7回 //
平成23年 2月26日	第8回 //
4月23日	第9回 //
6月25日	第10回 //
8月27日	第11回 //
12月17日	第12回 //

※平成23年2月26日以降は、全体会までに各分科会で提言書作成に向け、勉強会を開催し、提言の集約を行いました。



阿南市女性100人委員会代表
町田 哲子さん (吉井町)

女性の視点・意見を市の行政に反映させようと、自らの意志で「阿南市女性100人委員会」に参加した総勢114人の女性が、2年間にわたり活動を行いました。

普段から、ふるさと阿南に熱い思いを抱いている女性たちが、世代を超えて意見を交わし、愛する郷土の未来について考えました。その過程で、自分たちが住んでいるまちを見つめ直すことができたこと、人とのつながりができたことは、貴重な経験になったと思っています。

活動一年目は、さまざまな分野で調査・研究を行い、阿南市の現状について学びました。二年目からは分科会を設置して市民生活を8つの分野に分けて議論を重ねました。日ごろから感じている疑問や、まちづくりへの提案などをざっくりばらんに話し合い、分科会長を中心として意見

集約を行いました。それぞれ分科会のテーマに沿って政策を掘り下げながら、出された意見を「提言」という形にしていくなかで、ほとんどの方が初めての試みであり、苦勞の連続でした。それでもみんなで協力し合っ、何とか「提言書」にまとめ上げることができました。「ほつとした」というのが率直な感想です。

東日本大震災では、家族の絆や人とのつながりの大切さを再認識しました。人、組織のつながりが希薄では、いざという時に助け合うのは困難です。私たち一人ひとりが職業人として、家庭人として、あるいは社会の構成員として、日ごろからつながりを大切にし、それぞれの役割や責任を担うことで、誰もが安心して心豊かに暮らせるまちづくりが実現できるのではないのでしょうか。

阿南市女性100人委員会は提言をもつて使命を終えましたが、これからも機会を捉えてさまざまな分野で積極的に参画し、男女共同参画社会への意識向上につなげていきたいと考えています。

提言内容は不十分かも知れませんが、私たち114人の熱い思いがこもっています。これからの市政運営に反映していただけることを心より願っています。



長田 里美さん (福井町)

18年間、ふるさと阿南を離れていた私ですが、阿南市のまちづくりに興味があり、気軽な気持ちで参加させていただきました。そうそうたる顔ぶれに場違いな気もしましたが、多くの方から話を聞くことができ、地域の実情も知ることができました。

福祉は「心の豊かさ」や「幸福度」といった物差しでは計りきれない幅広い分野です。福祉にはほとんど関わりがなかった私ですが、分科会ではさまざまなことを学びました。福祉を必要とする方の意見も、もつと聞いてみたかったです。

東日本大震災では、ボランティアの力がクローズアップされました。地域コミュニティの希薄化が進む一方で、支え合い助け合うことの大切さをみんなが共有できました。私たちのまちにも社会貢献したいと思っている人はたくさんいると思います。住みよいまちづくりを進めていくためには、そうした人々が活躍できる環境づくりが必要ではないかと感じています。



片山 美幸さん (富岡町)



夢ある『ふるさと阿南』を次世代へつむぐ

阿南市女性100人委員会からの提言を抜粋してご紹介します。

【提言の骨子】

- 高齢者の自主・自立のための地域支援をする。
- 家庭・学校・地域社会が一体となって子どもを育てる体制を図る。
- 人権尊重の基本理念を取り入れる。
- 年齢や性別を問わず経験を活かした福祉活動により、地域福祉の向上を図る。
- 公民館運営機構を見直す。
- 高速道路ＩＣ周辺を利用した阿南の農林水産業の活性化に市民の声を反映する。
- 各公民館を中心に地元研究会（仮称）をつくり、観光資源を磨き、おもてなしの観光づくりに取り組む。
- エコライフのまちづくりに向けて、住民、行政、事業者が共に取り組む。
- 市の各種審議会、計画策定等における委員等の男女構成比率を見直す。
- 日本女性会議を開催し全国に阿南の魅力を発信する。

【分科会提言】

高齢者・自立支援分科会

1. 高齢者のコミュニティーサークルの充実
2. 情報提供の充実
3. 高齢者の生きがいの場を確保
4. 学び場を確保

子育て分科会

1. 教育内容の検証と充実
2. 子育て中の保護者への支援への充実
3. 家庭・学校・地域社会が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制の整備

人権分科会

1. 全ての人の人権が尊重されるセンターの設立
2. 人権のモデルとなる防災・新庁舎づくり
3. 男女共同参画社会の実現に向けて

福祉分科会

1. 庁舎内に「案内誘導係」（フロアマネージャー）の配置
2. ボランティア専課の設置
3. 災害情報の確実なる伝達
4. 福祉バスの試行（循環バスのさらなる活用）

まちづくり分科会

1. 公民館運営機構の見直し改善
2. 公民館の利活用を活発化
3. 市の各種審議会委員の選出の改善
4. 防災計画に女性の視点を

農業分科会

1. 阿南の農業の担い手を支援する行政講座の開設
2. 女性農業委員の擁立
3. 阿南の農林水産業の発展を目的とした、高速道路阿南ＩＣ周辺の新しい阿南のまちづくりの構築
4. 日本女性会議を開催し全国に阿南の魅力を発信

環境分科会

1. トレイ回収の新設
2. マイバッグ運動の拡大
3. 勉強会の設置
4. フリーマーケットの常設

観光分科会

1. 阿南市内の観光名所の案内看板（道路標識等）及び歴史的背景や外国人にも対応した看板の見直しと設置
2. 地域の観光資源発掘作業
3. 阿南市の観光資源を商品化

※上記以外に具体例などもご提言いただきました。



仁木 敬子さん（宝田町）

アサヒビール元社長の瀬戸雄三さんの言葉に「変化・挑戦・夢・感動」があります。人間は死ぬ時までにかく感動できたか、その数が多ければ多いほどその人生が素晴らしいものとなり、そして感動するためには、変化し、挑戦して、夢を叶えなければいけない、という意味が込められています。グローバル化の進展とともに農業を取り巻く環境は厳しさを増すなかで、後継者不足をはじめとするさまざまな問題をクリアしていくためには、行動を起こすことが何よりも大切だと感じています。そういう意味では、女性の決断力と行動力は、社会のあらゆる場面で必要とされているのではないのでしょうか。

提言にあたり、何もかも行政頼みではなく、自分たちが頑張っていれば、行政も必ず協力してくれると信じています。日本女性会議開催へのチャレンジもまた、今回の100人委員会の盛り上がりの中で生まれた目標の一つです。

平成23年の漢字「絆」に象徴されるように、市民とのつながりを改めて感じた女性100人委員会。新しい絆が力となり、若い世代に受け継がれていくことを願っています。



湯浅 多賀恵さん（福井町）

100人委員会に参加してみて、初めて突き当たった問題もありました。そんななかで、若い人が先頭に立つて一生懸命取り組んでいただきました。

人権問題は幅広く、子どもからお年寄りまでさまざまな形で残っています。私たちが率先して解決していかなければならない問題の一つで、女性が声を上げなければ解決しないこともあると感じました。

今回関わっていただいた方のみならず、それ以外の方にも活動の輪を広げ、できることから少しずつ取り組んでいきたいと思っています。

子育て分科会に参加して、経験豊富な先輩方からさまざまなことを学ぶことができて、子育て中の私にとって大変勉強になりました。

また、このような機会がありましたら、ぜひ参加したいと思っています。

渡辺 晶子さん（見能林町）



野村 千寿子さん（宝田町）

阿南はどんな魅力をもったまちなのか。100人委員会は、阿南のまちを改めて見つめ直すいい機会になりました。

私たちのまちには、人、物、風景など魅力ある素材がたくさんあります。しかし、観光分野では、それらが十分に生かされていないのではないかと感じました。案内看板の設置や観光地の環境整備のほかに、人材を発掘することも大切だと思います。「宝の持ちぐされ」にならないように、市民が「宝」を発掘していくことが必要ではないでしょうか。

観光といえば、どうしても新しいものに目がいきがちです。しかし、ブームは一時のもので根付きません。それよりも、地域に伝わる歴史や文化に目を向け、地域の人々が知恵を出し合いながらまち全体を盛り上げていくことが大切だと思います。

阿南市というまちが「温故知新」という言葉のごとく、もう一度、阿南の歴史文化を振り返り、地元を愛する市民を増やすことが、未来の阿南につながるのではないのでしょうか。

